二十一日夕刊

磐城每日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城每日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

短歌に現はれた農村世相

下田生

〔下〕

あてにせし配給肥料とゞかざり桑の芽は青くふくらみにけり　江波戸醇一

産組の肥料配給間にあはず氣を揉みつゝも施肥期遲らす　小林茂美

正直に肥料配給をあてにして待つてゐると竟には施肥期を失して增產どころか減少の憂き目を見んとも限らぬ。農村種々相である。

政府筋に米賣り我に商人等言葉左右し肥賣りくれず　小高倉之助

金肥料渡さねば買上米に應せずと決議せる農事實行組合もあり　飯田多茂律

リング制こゝにもある

小高氏の歌は適作中の一首である。買上米と配給肥料との關係の過渡期に於る惱みが農村にある。農產物と肥料とは密接不離なものであるが、米の專賣など云々されてゐる今日ある關者、適切なる國家官營が實現されるにはその陣痛を農村は今から覺悟せねばなるまい。

十六戸の農家組合に一足の配給地下足袋を抽籤にて捌つ　小林茂美

やうやくに券手にせしが地下足袋の配給店に品物あらず　鈴木太一

地下足袋の入手難しき時勢なり春ともなれば素足で野に出づ　藤井悍

地下足袋配給わけてのぞめず山小屋に米俵解き草鞋を編むも　小林茂美

地下足袋を草鞋にかへて田を打てる我がこの心生活ゆとしき　深浦五十治

地下足袋配給難も相當農村を脳ました事實である。この經緯は前揭の歌が如實に物語つてゐる。必ずしも草鞋が採算上有利と云ふ譯ではない。然し配給のない事には勝てない。最近頃に草鞋ばきが增加して來た。

これも時局風景である。

闇の價はこゝにもありて田を植うる人夫賃銀協定ならず　荒川草衣

闇相場は物だけでない。人間の雇傭にもあるらしい。府縣で公定の勞働賃銀が出來、郡市町村部落でも夫々協定されてゐる。然し農村勞働力の不足は田植時期など短時日に一地方同時に從ふので雇人に困難する。移動勞力班と云ふ様なものを縣郡で結成して緩和策が講じられてゐるが、仲々及ばない。結句の「協定ならず」と云ふのは協定通りに實施されないと云ふ事である。農村の事であるから昔から種々の物品やら條件やら變體に依つて誘引が行はれてゐたのであるが、最近は更に金に依つて動かされるらしい。これも一つの農村世相と云ふか。

12月22日

▽議員調査會總會で議會召集期變更豫算審議期間延長の答申案可決（昭和十二）

▽ルーデンドルフ將軍逝去（昭和十二）

その日〜

○

一を賞し、百を勸め、一を罰して以て衆をこらす　文中子

『野茨』短歌

○濱千鳥啼く夕べの漁火たゞよふ波は眞白にしぶく　紅壺

○稻刈りに行く畦道の露じめり素足にしみて身をもちぢめり

○靜かなる秋の日和空青く流れ浮ぶは赤トンボの群れ　久野菊枝

○朝もやの立ち込む畠に白と蒼麥のうねりのおちこちに見ゆ

○書き終へて庭に出づればすごき迄澄める夜空に星のまたゝく　坂詰靜枝

○國民は一億一心み戰の銃後を守るを共に勵まん

○老いたりと我は言ふまじ働いて戰ふ敵はほろぶ日を待つ　田中吉太郎

連續講談

異說赤穗浪士

別題「異說赤穗義士」「赤穗誠忠錄」

〔87〕

桃川若燕

畫　城木齋

打たぬ首

「ウーム、太郎吉、面を上げろ。只今申した通りに相違ないか」

「ハイ少しも間違ひはございません」

「して見ると其方が身を逃れんとして逃げる、それを與太郎が追ひ駈けたところ、誤つて右様な事になつたのだな」

「左様でございます」

「ウム、一通り死骸を檢めなければならぬ」

と神崎與左衛門夫れへ出て筵のかゝつてゐるのを拂つて見ると、伜の與太郎の變り果てたあさましい姿。

「太郎吉」

「ヘイ」

「この腹へ刺したのは今申した通り誤つて刺した傷相違ない、併し止めが充分してある、これは誰が致した」

「ヘエ傍へ參つて見ますと大變苦しさうでございますで、永々お苦しみを掛けては[illegible]濟みまし[illegible]、その脇差を抜いて咽喉を突きましたが却々堅くて入りません、仕方がないので石で打ち込みました」

「ウム、其方が致したか」

「ハイ」

始終を聞いた神崎與左衛門、元の座へ着く、

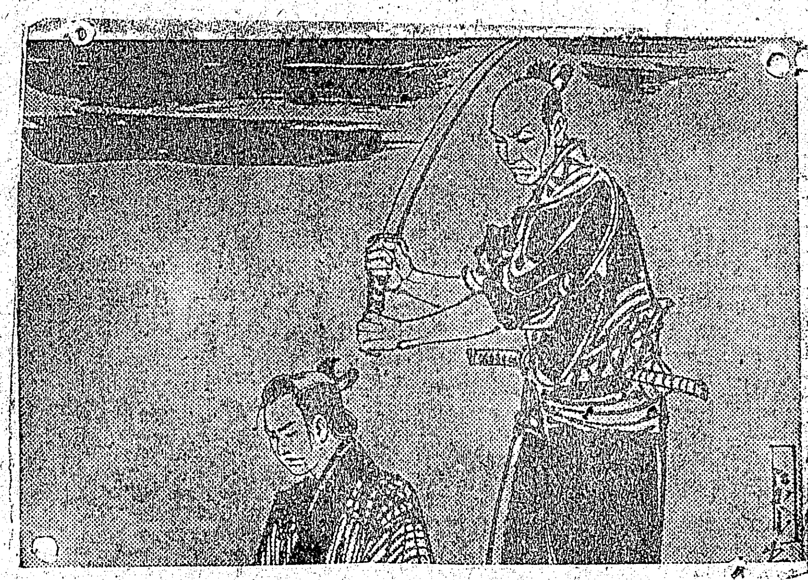
「名主源右衛門外組合の者一同よく承はれ」

「ヘエ」

「善悪を問はず人を殺害致したる太郎吉、助ける譯にはならぬ、殊に我子の敵、かく申す神崎與左衛門手討に致すから左様心得ろ」

「ヘエそれでは助かりませぬか」

「相成らぬ、コレ〜早々小僧の縄を拂ひ、庭先へ引くやうにいたせ」



そのまゝ與左衛門奥へ入る。白洲に並んだ役人は、太郎吉の縄を拂つて引立てやうとする。源右衛門は驚いて、

「お願ひでございます、どうか命ばかりはお助け下さいまし」

「成らん」

「ではございませうが、どうかお願ひでございます」

と下役人の手を押へる、太郎吉は、

「旦那様、もうお奉行様は助[illegible]はず[illegible]なでせう。仕方がございません、お手討ちになります、どうかお祖母さんの面倒をお願ひいたします」

「アーよく云つた、その事は承知して居る、村内で評議をして、每朝温かい飯でも持つて行つてやるやうにするから行くところへ行つてくれ」

「ハイ」

涙一滴こぼさず、その儘立つて行くと、ピタリと座り首をさし伸べる。

上下を脱いだ神崎與左衛門は、一刀を左に提げ、それへ出て來たが

「太郎吉覺悟をしたか」

「ハイ」

一刀ギラリと引拔いて後に廻つて太郎吉の首の付根を刀の脊でツッと打つ。太郎吉、驚くかと思ひの外、自若たるもの。

「旦那様、まだ私の首は落ちませぬか」

「イヤもう只今打落した」

「エッ」

「落[illegible]て[illegible]ぐつけてやつた」

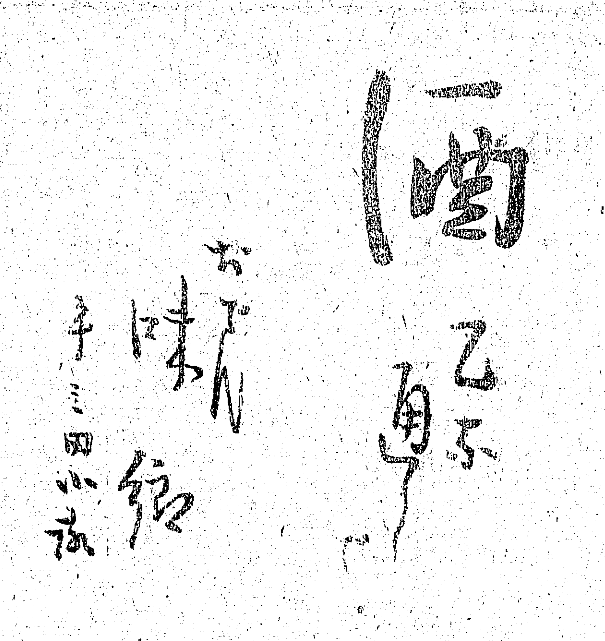
そこへ小褄を甲斐〜〜しく取り上げ懷劍を持つた與左衛門の妻、狂氣の如く出て來て、

「貴郎、お手打に遊ばしましたか、どうか死骸を手前に下さいますやう、伜與太郎の敵、せめて一太刀なりとも報ひてやらねば……」

「コレ〜何を云ふ、如何に女とは云へ、その振舞は何事だ、今の様子を尋ねたところ假令魚一尾にもせよ盗みをした與太郎、立歸れば斯く云ふ與左衛門手討に致さねばならぬ、それに引き代へ此の太郎吉は實に子供のやうではない——」

家傳良藥 ムテキ（ゆでぐすり）
一袋三十錢　二袋五十錢　五袋一圓
登錄商標
切斷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく、やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舗 宮城縣 ムテキ商會
代理店 平市古鍛冶町十番地（縣社下）阿康藥局
電話四十四番　振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

とんかつ專門の店
興亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家



お醤油は……ヤマフル
味噌 醤油　たひら正宗　鰹節 食品料
塩屋 山崎合名會社
福島縣平市 電話（營業部二〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

男女車掌募集 數名
年齡16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

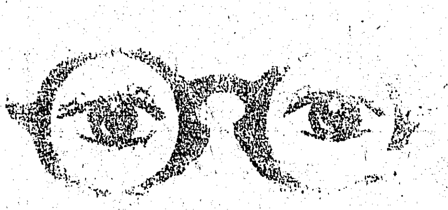
新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂 村山書店
平市中央通（驛前通）

四邊一ぱいに漂ふ冬景色を！お賞で下さい。
指定旅館
小瀧
電話[illegible]

一タバコをヤメルのによくきく藥
▼確實に禁煙に成功の出來る禁煙含嗽藥「ニコチロン」
一瓶一圓
是非御試用を御勸め致します
漢方胃腸藥の
賣所 山野邊藥局

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第一八〇九七號）
實用新案
ノモ板 第一七一九〇四號
野球用ボール 第一九七二號
興亞ノート 第二一四七九八號
使用法半紙節約ノ目的ニテ[illegible]
專賣特許
興亞厚紙（第(イ)一七三六號 第(ロ)一七三六一號）
特許會社 興亞特許商事
平市月見町十三
同 工場 月見町三十三

メガネ專門の店



メガネは絶對信用のある當店に[illegible]
平市[illegible]二丁目
玉屋

御會食に
御商談に
割烹 幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

口腔衛生
口腔外科
矯正科
鈴木齒科
小名濱町銀座通り

口腔外科
齒科一般
植田町（電話一七番）
森合齒科醫院
院長 森合芳男

國民擧つて防火塗裝を！
回危險に暴露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
1、太陽無機コロイド塗料は絶大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料は他にありません
3、粘着力非常に強く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時は水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました
回大量使用の御注文並に團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
特許專賣 太陽無機コロイド販賣店
カタログ進呈
山田文一商店（平市仲町通り 電話二六二番）

口腔外科、齒科一般
レントゲン科
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男
小名濱町中島通

內科、外科
小兒科、花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

◎◎◎◎◎◎
臨時に人手を必要な方
御婦人で職を得たき人
當會を御利用下さい
久保田家政婦會
小名濱町
會長産婆 久田イネ

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店…午後十一時限り、
平市銀座街
電話五九二番

聖紀を記念し 自治功勞者節婦表彰

廿三日公會堂で二九四名

皇紀二千六百年を記念し平市は自治功勞者並に隱れた街の美事善行者を表彰すべく調査を進めてゐたが二十三日午後一時から市公會堂に於て婦德の範とすべき節婦中平窪相田ハルさん、新田町河野光江さんの兩女並に市會議員二十七名、區長二十三名、區長代理十五名、方面委員十名、衞生區長十二名、警防團員五名、納稅組合長六十五名、市吏員二十一名、商業學校職員十八名、小學校長二名、小學校職員五十九名、青年團二名、學校醫六名、市傭員四名、市道路傭員二名、水道同六名、商業學校同二名、小學校同二名合計二百九十二名を表彰功勞者に酬ゆることに成つた

孝養至らざるなき 女性の龜鑑

婦德の高い河野光江さん

三萬五千市民から選ばれ現代女性の龜鑑として表彰される平市新田町料理店梅林主婦河野光江さんは明治四十五年先代河野和平さんの養女に入籍大正五年夫茂平さんを迎へて結婚し長男和平、長女イチさんと三男一女を擧げた、同十五年夫茂平さんは光江女の手厚い看護の甲斐もなく死去爾來四十一才に成るまで女手一人で家政を整へ子女を訓育、長男和平君を早大へ進ませ長女は磐城高女を卒業、次男茂男君は佑賢、青校を卒業、三男光男君は磐中に在學中である

同女は永い間享樂營業と云はれる料理店を經營しながら花柳界に染らず永い病身の養母に至らざる無き程孝養を盡し他に接しては懇切丁寧を極め稀れに見る高い婦德を備へて居り、公益方面に盡瘁、家庭防空群が結成されるや隣り組に推されて田町十三群長さんに就任防空演習每に新田町群の表彰されてゐるのは同女に負ふところ多く市民に範を示すものとして選れたものである

時計御下賜の恩命に 失明勇士感泣

廿三日戸田一等兵へ傳達

畏くも皇太后陛下より失明傷痍軍人に對して御下賜になつた失明者用懷中時計を本縣下で拜授の恩命に浴する唯一人、江名町陸軍一等兵戸田德次郎君に對し、二十三日平市役所に於て傳達式を擧行、縣から上塚學務部長臨席失明勇士に傳達されるが恩命に浴した戸田一等兵は傳達式を前に感泣してゐる

二千六百年記念 表彰者氏名

◎市會議員 野崎滿藏 高橋龜松 菅本庄治 關内正一 佐藤幸太郎 蓮沼龍輔 松本德一 萩原義雄 松崎松治 矢吹初彌 大嶺庫 永山勇吉 吉田五平 吉田寅之輔 川崎文治 金子政通 大谷武雄 吉村安次郎 鈴木庄之助 矢吹龜作 藤田榮助 鈴木庫左衞 山野邊義政 鈴木彌太郎 酒井清 多田井笑次郎 荒川淺次郎

◎區長 川角兼吉 木澤常松 山野邊大五郎 明智榮司 中野庄吉 星野庸治 山部政治 鈴木要七 酒井政之助 佐藤榮次郎 青木甚平 小野金太郎 草野七五三之助 佐藏榮吉 難波甚藏 野崎喜八郎 石澤茂 根本一馬 小野禎 金成留次郎 會川元次郎 吉田正一 小齋宗一郎 淺井忠市 塙幸吉 飯田近治 小野勇 石川幸太郎 金成泉一郎 矢田部忠芳 鳥越由彌 根本忠吉 西郡國太 村上三郎 高崎忠藏 吉田金作 久田太平

◎方面委員 大森勇 猪狩庄平 門傳淸吾 山崎與三郎 遠藤心光 岡田千藏 金子金治 小野閑次郎 鈴木寶雄 鶴田廣隆

◎衞生區長 山田榮松 大谷要次郎 里見金太郎 熱田留 片寄弘文 島辰次郎 丹野久五郎 大塚武雄 櫻井盛信 樫村三男吉 矢内忠 水野壽雄

◎警防團分團長 山崎忠兵衞 副分團長三井富吉 阿部傳六 内木宗八 鈴木利一

◎納稅組合長 星野湯造 松崎菊三郎 小野榮一 猪狩觀德 鈴木重太郎 吉田濱吉 南條正巳 高野吉太郎 白土正藏 久野ひさ 吉田定太郎 松本兵重 志賀盛榮 岩本重雄 風間福榮 馬目房次郎 菅野春吉 石坂詮太郎 小野常治 大平德兵衞 柏原眞吾 鈴木四郎 會川延太郎 正木貞二郎 大崎幸七郎 佐藤喜内 金成熊藏 江尻直次 田中宣治 山家謙之助 須藤鶴之助 草野金治郎 久栖道男 田中ハナ 花澤久一郎 森本盛一 兒山達二 田村濱吉 鈴木廣成 吉田弘 荒川恒次郎 石井末雄 大友猛 菅保平 大森勝次郎 山野邊留治 今井岩根 鈴木重治郎 鈴木忠三郎 松崎忠衞 小野弘 吉田卯三郎 小野久四郎 江尻保吉 折ノ内長司 關場益一 鈴木兼治 鈴木次郎 織田豐太郎 堀喜一 岡田長太郎 菊田萬吉 久野西松 吉野惣太 石川儀助

◎吏員 伊藤秀吉 西野源次郎 四家久米治 神長倉春造 眞野眞作 長谷川政 鈴木允 山野邊鍵卓 小泉長佐 江尻幸平 木村忠卯 岩立淺藏 渡邊美登 渡邊佐七 松田賢雄 渡邊政壽 渡邊直一 關場和一 山岸清水 橘光二 新妻一勇 荒川一郎 佐藤一 松井深 佐藤昌訓 佐藤淺次郎 三村直次 增尾二朗 松浦章 永島綾子 柴田道太郎 佐藤源亮

◎商業學校職員 望部甲 中村政 武川信夫 瀧原吉五郎 宮澤勝三 室原重幸 泉田亮 下山田勤 清水幸藏 菅原勉 藤井一 若松千秋 八代侯一郎 玉手利藏 鴫原四郎 齋藤久基 猪狩清 前松鑛

◎小學校長 篠山龐 赤津千里

◎小學校職員 平塚ムユ 根本榮雄 瓜田壽 大和田祐之 水竹仁 樋口ジツ 中村忠榮 玉手祥子 松崎吉太郎 石山クニ 坂本ユキヲ 大和田豊 佐藤豊 三森芳重 中山正夫 山野利雄 鈴木愛三 大伴操 志賀功 先崎清 米本實 草野光司 熊谷保高 鈴木寬 松本清美 大和田キヨ 常陸鶴之助 高畑正次郎 千葉とし 叶多正壽 横山藤次 遠藤景芳 野村ヨシノ 横須賀俊一 坂内キノ 井出宣 松崎ァヤ子 新家芳美 蛭田好一 上川恒平 菱沼儀 吉田功 藁谷仲六郎 吉田ミサオ 西牧清富 田仲重三 增井義榮 鈴木敬義 小泉公明 大友能一 酒井武夫 古川チヨ 根本芳男 井鳥セツ 松本歐夫 上川キヨ 小野松子 赤津量平 明智初與

◎青年學校職員 大越久五郎

◎同指導員 薄葉正明

◎學校醫 清水廣政 遠藤爲吉 神谷辰夫 根本莊次郎 志賀與一 鈴木健太郎

◎市及學校傭人 下妻義雄 長瀨廣

◎市道路傭員 見瀧又次郎 荒川惣吉

◎市水通傭員 阿部政義 鈴木覺一 鈴木俊平 鈴木鶴次郎 九里房保 金成九一

◎市傭員…伊藤寅市 酒井喜雄

◎小學校傭員 野崎末藏 高本仲治 高本ノサ

◎商業學校傭員 先崎フミ 大庭常三郎

貧困者救濟の 方面週間

平市は同情袋配布

方面調査週間は昨二十日から全國一齊に實施されたが平市では救濟基金募集のため全戸へ同情袋を配布、二十六日までに全部集めて軍事扶助者並に貧困家庭へ米、木炭等生活必需品を贈り暖いお正月を迎へさることに成つた

米壽祝の身に輝く 譽れの表彰

節婦・相田ハル媼

輝く聖紀に婦德の譽れも高く市の表彰を受けることに成つた平市平窪高儘二十六番地に農業を營む相田ハル媼は安政元年二月同町(元平窪村)鎌田淺吉氏の次女に生れ僅か十四才の少女時代に相田家に稼し農業に從事したが二十六才の若さで夫に死別す、當主の銀彌さんは當時十五才、次男九才長女三才の三兒を抱ひて寡婦を護り通し爾來夫に贊つて農業に精勵家運の挽回に努め遺兒を養育現在孫四人、曾孫六名を子守りしながら米壽祝を迎へた八十八才の老齡と思はれない程矍鑠として農耕に從事、殆んど藥用せず早起き早寢を實行、自合で水畝を耕し人も雇はず田植から除草、收獲まで一人で行ふ頑健振りである

殊に今次事變以來老ひの身もいとはず出征軍人の爲に寅歳の千人結びを思ひ立ち平市は論を俟たず寅歳生れの人々を訪ねて、遠く小川赤井、大野村方面まで出かけて結びつけたもの數百に達し自分で作り與へた出征兵を書いて神前に供へ武運長久を祈願するなど壯者も及ばぬ行爲に附近民は尠なからず敎化されてゐる

高瀨君個展

盛況裡に終る

二科展へ十回連續入選した平市二丁目高瀨勝男君の個人展は十八日から三日間レストランサロンホールに開催、出品は最近の試作十一點で何れも最近の進境を示すものがあり盛況であつた

小名のトラック隊 鰯輸送に集注

日素側原料輸送に違算

別項の如く鰯輸送の輻輳期に入つた小名濱町は全トラックを鰯輸送に集中してゐるため泉驛よりトラックを以つて原料石炭を運搬してゐた日素工場の輸送は殆んど停頓狀態に陷り從來の半減操業も尙危ぶまれるに至つた、このため省線との立体交叉を完成した、臨港鐵道の運用を急いだ結果辛ろうじて假運送に從事現狀維持に努めてゐる尙ほ臨鐵の竣工は日素側はもとより、海産關係者の待望久しいが資材關係で完成は明年六月中旬頃に至るものと見られ日素の原料移入と海産物の輸送に尠なからず違算を來してゐる

元旦はほろよい機嫌で 正月用酒の切符配給

酒なし日に惱む上戶黨に凱歌

歲末も押し迫つて市場から酒か締め出され、一般家庭は論を俟たす營業用の酒も品切れ勝ちで上戶黨は晩酌にも事を缺き悲命を擧げてゐる爲縣では「正月だけでもお酒に不自由かけないやうに…」と親心を出し縣下を通じ元旦用の酒は米木炭同樣切符制を實施、一戶へ一升宛配給することになり稅務署の協力を求めて酒造家を藏出し遲くも二十八日頃までには切符を配布すべく平署經濟警察係は管內の酒屋さんと協議を進めてゐる

切符制は正月用一回だけで酒商組合側が一定の配給所を設けて販賣し、これと別個に一般用は從前通り酒屋さんが卸賣りも小賣りも行ふから上戶黨は飲酒を制限された譯ではなく大した心配は要らない切符は常會隣り組を通じ木炭同樣に全戶へ配る豫定である

正月用酒五六〇石 酒質も統制

配給は新舊正月別に分ける

正月用に配給される淸酒は一戶一升宛と見て平署管內だけでも五百六十石と云ふ莫大な數量に上るので配給機構は平市及炭礦地方等新正月で越年を行ふ地方は新正に配給、農村や漁村等舊正を主とする地域には新正に配給せず新舊三回に分離して配給する模樣である

尙切符實施と共に暮れから正月にかけて惡質酒が橫行する恐れある爲酒の規格を統制するため平署では卸屋と小賣商、營業者等から同一種をそれ〴〵集めて酒質を調査、規格を定めて惡い酒を市場からも料理店、飲食店等營業店からも一掃することに成つた

近村加入問題で 地區組合協議

縣商工課の斡旋で解決か

平商業組合(地區組合)に內鄕好間、上下小川、赤井の四ケ村を包含する關係者の協議會は二十三日午前十時からマルトモホールに開くことに決定縣から中山屬、和平商工主事出席し

平市組合發起人全員、市役所代表、平署經濟係、村側は各村長と一村代表五名宛集合、發起人側は計劃案と現在までの經過を說明して諒解を求め縣の中山、和平兩氏から組合結成と縣當局の意嚮を傳へて極力四ケ村の加入を慫慂する筈である

平市の近村商業者は現在市を離れて獨立的に營業すること困難な狀況にあり、發起人會組織以來好間村約百名、內鄕村から三十名程單獨加入を申込んで居り反對者は一部の人々に過ぎないから縣商工課の斡旋で面目も立ち圓滿に全村加入するものと見られてゐる

創會の延期 申込み受付

地區組合加入者へ

平地區組合は創立準備の爲加入申込みを十五日で打切つた結果未加入の商店で立場に困つてゐるらしいが近村加入を圓滑に進める關係上創立總會を新春に延期し從つて一般の加入も當分認めることに成つたから未加入者は至急申込まれたいと

平市會議員が 傷病兵慰問

三班に分れて年內に

平市會議員は三班に分れて市出身の傷病兵を慰問することに決定、第三班東京、橫須賀兩病慰問に二十日朝出發した一、二班は新春早々慰問行する豫定

△第一班、高田、村松、若松各陸軍病院、蓮沼團長、荒川、矢吹(初)佐藤、矢吹(龜)酒井、吉田(寅)、大谷

△第三班、仙台、飯坂、山下三陸軍病院、團長關內、吉村、松崎、多田井、大嶺、藤田菅本、鈴木(庄)吉田(五)、高橋、

△第三班、東京(第一、二、三病院)、橫須賀病院、團長萩原、金子、山野邊、鈴木(庫)松本、永山、川崎、鈴木(彌)

養父の遺志 百圓寄附

四倉金成兵事主任

四倉町役場兵事主任金成仙治氏養父要造翁は六十五才の高齡で二十日死亡、同翁の遺志に依り仙治氏は左の如く各團體へ百圓寄附した

△三十圓、四倉町銃後奉公會△二十圓、小學校講堂建設資金△二十圓、在鄉軍人分會△二十圓、四倉町警防團△十圓、國防婦人分會

兩大臣更迭

安井內務、風見司法兩大臣は二十一日午前近衛首相に辭表を提出した爲同日午後三時左記後任兩大臣の親任式を取行はれた

國務相 內務大臣 平沼騏一郎

興亞院總務長官 司法大臣 柳川平助

天勝孃來演

二十三、四聚樂館

師走の街を賑はす新興天勝一行娘子軍の大興行は三年振りで來る二十三、四の二日間平市聚樂館で華々しく開演、天勝獨特の演技を見せることに成つた

四倉防空群で 大國旗樹立

仲町群員の記念事業

四倉町第五區第六群家庭防空群(仲町)は群長片寄淺次氏外二十二名で醵金し同區內へ紀元二千六百年を記念大國旗を設置することになり工を急いでゐるが二十三日午前十時から樹立式を行ふことに成つた同國旗は長さ二間半、巾九尺、經費六十五圓を要してゐる

記事訂正

二十日附本紙〃となりぐみを語る〃の記事中『田町債券組合が當籤の場合組合へ五割納入半數だけ自分のふところへ入る』とあつたが右は『當籤の場合常會基金半額を出し殘りの半額で債券を購入すること』の誤りにつき訂正す

× ×

本日記事輻輳に付「となりぐみを語る」は休載致します（となりぐみ係）

小名登記所長 雫川氏着任

小名濱登記所長後任雫川重氏はこの程着し二十日町の關係方面に挨拶した

平市慶弔錄

【婚姻】△平市立町五番地船山太一(三三)さんと磐城村字藤原野木艶子(二六)さん△平市胡摩澤百十七番地豐島豐(三五)さんと相馬郡中村町原釜字大津二百二十二番地佐藤キイ(二一)さん△平市鍛冶町六番地現在住所東京市本鄕區石原町高根澤朗(三四)さんと埼玉縣埼玉郡百間村石井ノブ子(二二)さん

【出生】△平市材木町八番地現住所東京市荏原區戶越町櫛理忠義二男翼弘さん△平市二丁目四十三番地現住所田人村字南大平石川精一郎三男武美さん

【死亡】平市大字下平窪字銀治內二十九番地木田源吉(六五)△平市研町十一番地金成洪三(四八)△平市南町四十九番地草野モト(七六)

神戶牛 すき燒

平市仲田町 電話二五〇

茶山

天氣豫報

今晚 北西の風晴

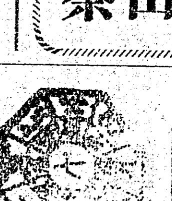
明日 北西の風後南の風晴 時々曇り

二十二日

滿潮 前九、三三 後九、四五

干潮 前三、二〇 後二、三五

舊十一月廿四日 日曜 己亥 佛滅 閉 昴宿 新十二月廿二日



▲一白 活氣滿ちたる天運日にて開府事業始め皆吉

▲二黑 自由行動の執れる日引込思案は却て損あり

▲三碧 暗がりに物を探るが如く思ふ樣にならぬ日

▲四綠 依賴心を去り自力を本位として精勵すべし

▲五黃 脫線せざるやうに本業を大切に守るべき日

▲六白 仕入れと緣談は注意すべきも他の事は皆吉

▲七赤 我意を通さんとするときは意外の失敗あり

▲八白 運氣次第に挽回し行く日秩序正しく進べし

▲九紫 人の事に口を出す時は爭を背負ひ込むべし

唄た…踊りだ…音樂だ溌溂たる青春の娘子軍

本年度棹尾の 大特別興行

〃世界的魔術の女王〃

おなじみの宗家天勝改め

新興 天勝大一行

天勝こして恥ぢぬ充分なる演技をお目にかけます

レヴウ・ボーイズ・獨唱・音樂・大魔術・ナンセンス・小品奇術・新舞踊・ヴライテー・水藝龍宮

新体制破格料金 七十錢・五十錢

十二月二十三日 二十四日（二日限り）

平市 聚樂館（電話四七〇）

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科

平驛前 電三三六

高柳醫院

醫學博士 高柳博明

移轉お知らせ

弊店、今般三丁目中央通り（マルトモ食堂前）に移轉從前通り營業仕り候間倍舊のお引立ご御愛顧を御願申上候

平市三丁目中央通り（マルトモ食堂前）

岡萬年筆專門店

一般齒科

村上齒科醫院

小名濱小學校正門前

齒學得業士 村上豐